

おい図書館

No.54 発行
代表 おい図書館
青木 和子
松戸市総台 830-60
TEL 367-15384

松戸の図書館視察を 終えて

工藤 すす子
松戸市議会議員

残念ながら今回は浦安の見学には参加できませんでしたが、午後、松戸の図書館見学に合流しました。

浦安の図書館は過去に見学させて頂きましたが、その環境・規模・内容等については明らかに松戸を上回っていました。将来、松戸において新設される図書館は、せひとも浦安のように市民の皆様安心して利用されるものを目指したいと感じたものでした。

現在松戸では移動図書館を見直して、病院やケアハウス等の

福祉施設への出張貸し出し等も実施されるようになり、障害のある方には注文に応じての配達も行われていきます。勤めで昼間利用できない方々のために試行中の夜間開設も、本実施に向かうようです。利用者が直接検索できる端末機も導入されるなど、限られた条件の中での努力もみられるといえます。しかし長期構想でも明らかにされているように新たに図書館を新設すべきという方針はあるものの、それに向けての土地の確保の問題やその内容の検討について、市の取り組み姿勢がいまひとつ私達の目に見えない状況です。財政の厳しさが大きな壁であるとは思いますが、だからこそ時間をかけて充

分な検討を加え、無駄のない準備をすべきと考えるところです。

新任の館長さんも今後勉強していきたいとのことですので、司書の体制強化や図書購入の予算確保など私達も援護射撃をしながら、市民の皆様ともさらに意見交換の場を積み重ねていけるのではないのでしょうか。ともによりよい図書館をめざしたいものです。



松戸の新しい図書館は

大蔵省関税分析場跡地へ！！

6月のおい図書館の目例会は市民会館で、末松裕人市会議員を囲んで開かれました。

討議の中で、新図書館は、車を使わなくても行けて、環境のいい所、駅の近く、すなわち、大蔵省関税分析場跡地予定地が、やはり最適という事になりました。(S)

夢を現実にする

浦安にまけない

図書館づくりを

吉野 信次

松戸市市会議員

これまで私は、これはすごい図書館だ、と思う図書館に出合ったことがありませんでした。どちらかと言えば必要の本は購入したいと思う方だったので、図書館への強い期待がなかったと思います。

ところが、5月11日、おい図書館のみぞんと共に浦安市の中央図書館と松戸市の本館を訪ねてみて、図書館の認識が根底から変えられていくのが、はつきりわかりました。

浦安と松戸の図書館行政が、かくも格差があったのか、と。しばしば、然とさせられ、あらためて、どこにポリシーをおくか、浦安市のような豊かな図書館

館づくりができるのだと、自治体の可能性を再認識させられました。2ヶ月たって、まだ常世田館長の言葉が耳から離れません。

「市民は正確な情報を求めている。図書館は情報の発進基地だ」と、言われたことが……。図書館への想い、哲学がまったく違っていたのでショックでした。

この浦安の見学直後に、教育民生常任委員会、金沢市の図書館を見学させてもらいました。浦安のようなショック、衝撃はありませんでした。

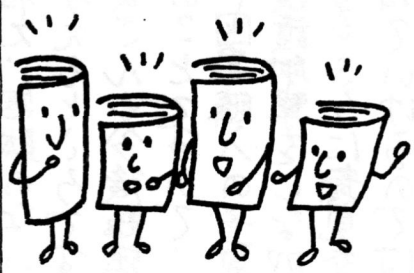
活字離れが進む今日、市民一人当りの貸出し冊数が、浦安では1冊、松戸が3冊、この差が何十年も続けば、市民の文化水準も違ってくるのではないのでしょうか。

松戸市は、長年の計画で図書館の新設が予定されながら実現されませんでした。総合計画(第一次)の中で、二〇〇二年度まで

に新設のとりくみが入っています。二一世紀半までをも展望しながら市民が夢を持つような図書館をせいつくりたいものです。

そのためには、市政の中で図書館行政のこれまでのとりくみの、しっかりした総括が必要ですし、これまでのあり方を大きく変えていける発想、構想が求められていると思います。

これまでの図書館行政を大きく転換させる力は、市民の行動だと思えます。市民の図書館への関心を高め、浦安にまけない図書館づくりを全力をあげて、とりくみましょう。



動き、生じた 図書館構想

行政との話し合い

大久保 ヒロ子

6月10日午後、議会棟の第一会議室において、行政の方々4名（社会教育部長、課長、図書館長、企画調整室長）と退席し、長谷川市議、おーい図書館の名とで、図書館について話し合いました。

今回は図書館の基本的考え方や、業務の内容などについて、一時間以上にわたる、有意義な話し合いができました。

中央図書館建設は、昨年度よりスタートした長期総合計画の第一次実施計画の中に盛り込まれ、平成14年度中に着工が予定されています。図書館単独の施設ではなく、複合施設である生

涯学習センターの一部として、い

よいよ具体的になってきました。

建設に先だって生涯学習基本計

画を今年中に作成予定で、6月30

日にその基本計画の第一回の会合

が開かれ、メンバーは、総務部長

社会教育部長、学校教育部長、企

画部長、企画調整室の5名の行政

関係者と、学識経験者として泉民

プラザ所長、聖徳大学教授2名の

計8名です。これは市内プロジェ

クトとして構想を作成するそうです。

建設候補地としては、相模台の

大蔵省関税分析所の跡地を考えて

いるとの事です。

今まで、おーい図書館の学費や

様々な活動を通して、図書館の理想

というものを求めてきました。その

具体的な形のひとつとして浦安図書

館を頭に描いてきました。が（他にも、

町田、朝霞など）「松戸らしさ、松

れるようでした。

また、図書館への思い入れを持

っている市民や団体は、私達だけ

ではなく、他にもあり、そういう

市民の代表の考えを生かしたいとの

事でした。

私達が考えている図書館づくりの

重要な要素のひとつとして、図書館

職員が、専門職としての情熱をさ

らに生かせるような場にして頂き

たいと思います。

他の団体からも、市への要望を

たくさん出して頂き、計画のでき

るだけ早い段階から、市民参加の

場をつくって頂きたいと思えます。

